廿五日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
△日刊（日曜、祭日休刊）

平町地下採掘
平町會で贊否決定
磐城炭礦の採掘願

平町では曩に好間村古河炭礦會社が平町地下採掘の件を出願したので之が反對陳情のため非常な經費をかけ結局不許可となつたが、今度は內郷村磐城炭礦會社に於て住吉坑の開鑿と共に飯野、內郷、平の三町村に地下採掘の出願を提出したので、其筋では許可の關係上平町役場に意見を諮問して來たので二十五日開かれる平町會に於て答申について協議する事になつたが、平町の採掘場所は南部方面長橋町堂の前、仲町、十五丁目、月見町方面で、長橋町附近は地下二千尺、月見町附近は地下三千尺の箇所を採掘するものである。

▲草野村有權者　石城郡草野村々會議員選擧資格者は八百六十五名、衆議院議員選擧資格者は八百七十名である。

勝つた若松氏に對する
野崎氏の態度如何
縣參問題のもつれは
このまゝ根絶はしまい

石城民政黨部會の縣參爭奪戰はを叫合し葬合戰的抗爭を開始す本舞臺を福島に移し野崎、若松るか、否かゞ興味の中心となり兩派が最後の決死戰を行ひ、其各方面から頗る注目されてゐるの結果決戰投票に依つて若松美野崎氏が反野崎派即ち若松派の三氏が縣參の椅子を遂に捷ち得策動に依つて敗戰を見た事を默る事になり長老會に於て推薦さ認するとは見られず、何等かのれて優勢な位置にあつた野崎派方策に依つて對立的抗爭を開始は敗戰の憂目を見る事になつた此の縣參問題は之で一先づケリはついた譯であるが、野崎滿藏氏が縣參の椅子を若松氏に奪はれた儘泣き寢入りをするか、それとも長老會の推薦を楯に同志

た野崎氏とが今後如何なる戰術に依つて爭ひを續けるか、頗る興味ある問題であり又現在の狀態では石城民政黨の二大分裂は免れ難い有樣である。

▲草野入營兵　石城郡草野村本年度の入營兵左の如し。▲滿州新妻信雄▲朝鮮片寄周平、渡邊重忠、春日重藏▲近衛齋藤長治、鈴木久義▲仙臺字佐美國一▲若松坂本一郎、芳賀貞義、仙臺松本一、大塲忠壽、鈴木高保、木下助三郎▲千葉小島滿

磐越線の列車時刻は
變更する譯にいかぬ
江木鐵相から解答

去る九月十五日列車時刻が改正された結果磐越東線郡山驛發平着最終列車は午後八時四十四分に繰上げられた爲め平地方民は非常に不便となつたので伏見平町長は鐵道大臣に對し時刻變更の陳情書を提出中であつたが、二十五日江木鐵道大臣から全國列車運轉の關係で希望に添ひ難ひ旨の解答があつた。

△木村代議士歸朝談△

會議は九月二十三日から二十七日まで五日間ベルリンで開催されたが、今年は主として農村問題、離村問題等が議題に登つた、併し同會議は單に形式的のもの、決議機關で無く、協議機關であるので討論とか、議論の沸騰などは少しも無く、各國の輿論を發表するに過ぎないのであるから、會議は極めて平凡であつた、それが爲め英國選出の議員の一人は、斯くの如き實行の伴はぬ形式會議は無意義であると誇々の意見を吐いたが、同會議が法律的機關でない以上實行を云爲する事は少し無理である、同會議は獨、佛、英三ヶ國の言葉以外に使用出來ないので我國の代表團長たる林博士が座長となり佛語を以て日本の贊成演說を述べられたが、簡單ではあつたが趣旨は徹してゐた。

□

會議終了後の歐米視察は日數が無いので落ち付いてゐる譯にも行かなかつたのは殘念であつた、外國へ渡つて驚いたのは交通網の發達と道路の完備である、米國の如き地下地上から更に二階、三階と四線の電車が縱橫に走つてゐる英國の如きも何百尺と云ふ深いテームス河底に地下鐵道が動いてゐる、道路の如き流石大陸地だけに何十里、何百里と云ふ長距離で全部アスハルトやコンクリートで充たされてゐる、其他行くところ道路の完整には一驚を喫するばかりであつた。

□

獨、デンマーク、オーストリヤハンガリー等は耕地として實に廣漠たるもので、見渡す限り皆平地である、併し極めて單純で詩情に欠けてゐる上に耕地は何れも荒廢してゐるツエッコスロワッキヤは耕作地が無限に廣いので畑の際限は雲にとゞいてゐる有樣である、文化程度の進んでゐる事は勿論であるが、從つて生活程度も高い、米國の如き殊に甚しい、ニューヨーク市だけの一ヶ年の豫算が十二億萬圓である、全日本の十六億より少なき事僅かに四億とは唯々啞然たるものである、獨逸の如きは女中に至るまで國稅を課してゐる、併し流石興國觀念が強いだけに土木工事等に資する課稅なら甘んじて受けると云つてゐるさうである、悲愴ではあるが賴母しい國民である、一般に敎育程度も高いが親子の情愛は極めて薄い母性愛などは見たくも見られない、母親が乳呑兒を抱くとか添乳する如きは長途の旅に僅か一二回見たゞけである、本國の如き母性愛、慈父の情などは絕無と云つても過言ではあるまい。

□

外國で養老園の發達してゐるのは其一面を雄辯に物語つてゐるものであらう、も一つ意外に感じた事はイタリーに乞食の多い事である、街道群を成して通行人に物乞ふてゐる情景は異常の感に打たれた、國の大統領ムッソリニーは之れを遺憾に思ひ大なる犧牲を拂つて乞食の大整理を斷行したので其の數も非常に減少されたがまだ〳〵徹底を期すまでには前途遼遠である、之れを觀ても熱帶地方は一般に遊牧の民の多い事が窺はれる。

□

歸途は一萬七千噸と云ふ日本隨一の淺間丸に便乘し航海したが、船室の裝飾は華美を極め歌舞、音曲から映畫に至るまであらゆる娛樂機關の設備があるので退屈する暇がなかつた、船中同縣人郡山出身文士久米正雄君との初對面は自分にとつて印象深いものがあつた。

債券偽造の一味
平刑務所に收容
山本刑事課長來平し
平檢事局と打合せ

國庫債券偽造事件は手先きに使はれた北郷竹次郎、上野耕三、鯨岡清一等の自白により首謀者は元本縣巡査小泉浩(四四)と判明二十三日縣刑事課員が上京して小泉を逮捕しその連類者上村某と共に二十三日身柄を平警察署に移し、曩に捕はれた三名と共に平署留置場に收容し平檢事局、平警察署總掛りで取調べ中である、二十五日には山本刑事課長が平署に來り武田檢事と打合せの上夕刻一味五名を全部平刑務所に收容するに至るらしく被害者は石城郡內であるため事件は平支部豫審係の手によつて審理さるものゝ如くである。

首犯者小泉浩(四四)は相馬郡中村町大字松ヶ江甚衛三男で明治四十一年本縣巡査を拜命大正二年退職、大正四年福島商業銀行に入り若松支店長代理を勤めた事もあり機智に富み十數萬圓の財產を作つたが商銀の破產と共に自分の不正が曝露したため一家をあげて逃走したものであつた。

▲他人の犬を殺す　石城郡內郷村大字綴靴直し松島定吉(二九)は二十日午後七時頃內郷村大字綴字町の內に於て草野隆雄所有の畜犬を撲殺し自宅に於て食つたため告訴された。

▲佐藤町議宅へ賊　平町鎌田町雜貨商平町會議員佐藤岩次郎方に二十三日午前二時半頃裏戶を破つて忍び入り熟睡中の家人の枕元から財布を窃取せんとしたのを物音に驚いた家人に發見され一物も得ず逃走した犯人あり平署では犯人行衛嚴探中である。

印刷物は　加納活版所

自動車內に
大金紛失

石城郡內郷村字白水雜貨商五十嵐林次郎(六二)は二十四日午後三時頃借金を返す爲め百六十圓を調達して平町から尼子乘合自動車に乘り歸宅の途中綴地內で自動車を下り程經てから該金百六十圓入りの財布を自動車內に置き忘れたことに氣付き引返して調べたが判らず乘合中のものに持つてゆかれたか自動車に乘車する前に平町內で紛失したものか判らず平署で取調べ中であるが自動車內で紛失したらしい

原町通信

上眞野消防の紛擾

愈々具体化す

相馬郡上眞野村の消防基本金紛失問題は表面鎮撫したる觀あるも內訌未だ納まらず、中村署に於て現組頭伏見直重氏を取調中であるが同氏は前組頭大和田將衛氏に金融を願ひたるまゝ大和田氏は消防基本金を融通せしに伏見組頭は大和田個人のものと思ひたりと云ふにありて伏見氏と大和田氏との申立に曖昧なる点あり結局伏見氏は融通金額は辨償したるも直接警察署に於て監督の許にある消防組の事とて容易に鎮撫の模樣なく中村署に於ては飽まで無白判明せざる內は取調を續行すと、之れかあらぬか廿日同村大字山下消防組員は連袂辭職届を伏見組頭迄差出したるが火災時節を目前に控へ居る事とて同村の狼狽一方ならず桑折村長其他二村議が就任を勸告せしも聽入れず桑折村長は廿一日午後三時中村署に出頭して小田部署長と前後策を協議し同夜歸村したが、同組員の連袂辭職は全村に及ばんとして居る模樣である。

▲**野菜品評會** 相馬郡八澤小學校にては廿一、廿二の兩日野菜品評會を開催したるが出品一千余点にて廿二日午後より即賞をした。

▲**小高町會** 相馬郡小高町にては二十日町會を開きたるが衛生費に關し豫算更正を附議した。

▲**競獵會延期** 原町獵友會は二十四日バッカメキ獵區內に於て競獵會を催す筈なるも同會にては經費の關係上無期延期となつた。

▲**原町書畫展覽會** 原町幼稚園に於て廿三、廿四兩日書畫展覽會を開催したるが出品多數あつた。

▲**俵米品評會** 相馬郡日立木村農會主催にて廿五日俵米品評會を日立木驛前農業倉庫に於て行ふ由。

▲**原町地方の初雪** 原町地方は二十三日朝來より寒氣俄かに低下し午前十時頃よりチラホラ降雪を見夜に入りて一層の寒氣を增し堀井戸に据付ある鐵管は二十四日の朝に到り何れも凍り近頃稀に見る寒氣なりき。

▲**相馬青年總會** 相馬郡青年團總會は既報の如く廿三日午前十時より縣立相馬中學校講堂に於て擧行されたるが、之より先き郡內各町村の青年團員の入場ありて先づ團長相馬農蠶學校長佐藤弘毅氏の開辭あり引續き優良青年及び優良分團、特殊善行者の表彰あり終つて團員の五分間演說後相馬郡鹿島町出身の海軍水雷學校長海軍大佐植松練磨氏の講演あり、又余興としては劍道模範試合あり午後三時盛會裡に閉會したが出席團員は千五百余名に達した、優良青年として表彰されたるは福島德藏中村、荒淑夫松ヶ江、岡島騎意大野、桃井隆義飯豊、荒誠八幡、渡邊虎雄山上、山田定義日立木、佐藤誠駒ヶ菊地重勇磯部、加藤喜一新地、加藤富雄福田、大旗務八澤、林春治鹿島、佐藤龜治眞野、西井一郎高平、高野運藏上眞野、佐藤高野、只野崇石神、紺野一太原町、牛來隆十田、梅田平治金小高、寶西忠福浦、新妻磐飯豊

優良分團長老內分團荒井町、中村分團大野、內分團船越分團、日立木新田分團飯豊、戸分團迎分團、北海蛯磯部分團、上高野分團、八澤大內分團、眞野分團、平分高平分團、小木太田分團、延吉名分團、大甕福浦分團、原分團南鳩豊分團、金房飯樋分團

續けざまに 二回轢かる

二十三日午後五時頃石城郡四倉町字新町生方選(二〇)は自轉車に乘り草野村地內を疾走中誤つて同村大字泉崎西山順之助(六一)を轢き倒し足部を負傷せしめたが折柄後方より同村自動車業鈴木達次郎方運轉手吾妻利左衛門(一九)が運轉して來た自動車のために順之助は又も轢かれ身体數ヶ所を負傷したので直に附近の醫師にかつぎ込み應急手當てを加へ生命は取り止めた。

二十余名が 花合賭博 八名を逮捕

石城郡內郷村高坂磐城炭礦乙九號一同炭礦從業員大塚正夫(三〇)方に於て二十三日午後十時頃二十餘名の博徒が集まり會計日なので現金數百圓を以て花札を使用追ひ丁株と稱する賭博を開帳してゐること平署員が探知踏込み大格鬪の末內八名を逮捕殘るものは續々檢擧されてゐるが二階から飛び下り戸障子を蹴破つて逃走する等一時は大騷ぎであつた。

光榮御祝着

御花嫁御祝着特賣

金解禁と新安値

全商品の宣傳價

十一月一日ヨリ

人形七五三宮詣り陳列 (十一月廿日ヨリ)

三井呉服店

新妻眼科醫院

平町字紺屋町

◆入院應需 ◆看護婦一名至急募集

東西!!東西!!! 不老長壽をお望みの皆樣へ御披露申し上げます。

この度平町七丁目に熱心湯が出來ました

藥湯は毎日午前十時からあります。特効は▼胃腸の弱い人▼精力減退の人▼老衰、病衰の人▼顏色惡るき人▼貧血、冷性の人▼虛弱、病弱の人▼神經痛の人▼リウマチスの人▼子宮血の道の人▼其他一般身體弱き人

湯治の御方は休憩室も澤山あります、二階座敷料共大人一日廿五錢、小人十錢

其他組合定めの通り……此の藥湯は良く効く、良く溫まると大變な評判です……どうぞお運びの程を御願申上ます。

外科一般

醫學博士 藤本順

產婦人科

院長 木村寅次郎

平町新川町 電話一六四

病室完備 入院隨意

木村病院

牛豚肉廉賣

秋——みのる秋!! 肥ゆる秋!!!

愈々食肉のシーズンは來る 精力と体力の增進を計るは今!!!

牛肉百匁金二十五錢
同上肉同金四十五錢
同ロース同金六十錢
同ヒレ同金八十錢
豚肉百匁金二十五錢
同上肉同金四十錢
同ロース同金五十錢
同ヒレ同金六十錢

平驛前(元平劇場入口)

深谷牛豚肉店

電話五二四番

耳鼻咽喉科

專門

新築移轉 平町仲田町七一 場所 合津醫院

電話五九五番